

# 羽曳野市の財政状況 〈令和4年度決算〉

【第2版】

羽曳野市総務部財政課

羽曳野市の財政の状況を、つぶたんと一緒に見ていきましょう！



# ～ 目 次 ～



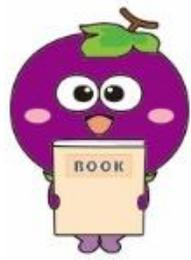
Q1.	そもそも財政ってナニ？	1
Q2.	羽曳野市のお財布にはどんなものがあるの？	2
Q3.	一般会計の決算の概要を教えて！	4
Q4.	令和4年度の歳入の特徴を教えて！	6
Q5.	令和4年度の歳出の特徴を教えて！	9
Q6.	令和4年度に行った主なお仕事を教えて！	14
Q7.	羽曳野市にはどれくらい貯金があるの？	15
Q8.	羽曳野市にはどれくらい借金があるの？	16
Q9.	羽曳野市の財政状況は大丈夫なの？	17
Q10.	これからの羽曳野市に必要なことはナニ？	22
Q11.	僕たち、私たちにできることは？	24



よろしくね！

羽曳野市の財政状況をできるだけわかりやすく説明するね。





## Q1. そもそも「財政」ってナニ？



市役所では、市民の皆さんから税金をいただき、子育て、福祉、教育など、市民の皆さんの生活にかかわる色々な仕事をしています。  
市役所では、そういった仕事を効率的に行うために、様々な「お金のやりくり」をしています。  
つぶたんもお小遣いをもらったなら、それをどうやって使うかを考えるよね。  
市役所では、その「お金のやりくり」のことを「財政」と呼んでいます。

### 《もう少し詳しく》

#### 予算とは？

市役所では、市民にかかわる色々な仕事をしています。しかし、市役所に入ってくる収入には限りがありますので、その収入の見込みの範囲内で、やらなければならないことの優先順位をつけ、仕事をしています。

この収入と支出の見積りるのことを「**予算**」と呼んでいます。市役所では、毎年度「予算」を作成し、これに基づいて様々な仕事をしています。

また、異なる仕事ごとにお財布（=会計）を分けて、その仕事ごとの予算を作成する場合があります。

#### 決算とは？

市役所では、市民の皆さんから税金などを集め、様々な市民サービス等を行っています。そして、それらの収入がいくら集まり、市民サービス等にいくら使われたのかを、毎年度取りまとめしています。

この収入と支出の取りまとめ結果のことを「**決算**」と呼んでいます。決算では、市役所がその年度にお金をどう使ったか確認できます。また、決算の数値を用いて市役所の財政状況がどうなっているかをチェックすることができます。

「決算」は、言わばその年度の市役所の成績表です。

Q 2. 羽曳野市のお財布にはどんなものがあるの？



市役所のお財布には、大きく分けて「一般会計」、「特別会計」、「公営企業会計」の3つの種類があります。

《もう少し詳しく》

## 一般会計

R4年度にかかったお金  
**約450.2億円**

市の基本的なお仕事（福祉、教育、ごみ処理、保健、道路など）をするためのお財布。皆さんからいただく税金などが主な財源。

## 特別会計

R4年度にかかったお金  
**約258.2億円**

国民健康保険など、特定の目的の為のお財布。保険料等の収入により医療費等の支出をまかなう。一般会計と分けることで経理を明確にしている。

## 公営企業会計

R4年度にかかったお金  
**約49.2億円**

水道、下水道など民間企業に似たお仕事を行うためのお財布。料金等の収益により費用をまかなう。一般会計と分けることで経理を明確にしている。

令和4年度では  
市役所全体で

**約757.6億円**

のお金がかかりました。



次のページで、それぞれのお財布の収支を見てみましょう。

## 羽曳野市のお財布ごとの収支（令和4年度決算）

収支（収入－支出）がマイナスになることを「赤字」と言うよ。

種類	お財布の名前 (会計名)	収入 (収益)	支出 (費用)		収支	説明
			一般会計 繰入金	繰入金		
一般	一般会計	451.5億円	-	450.2億円	1.2億円	市役所の基本的なお仕事をするためのお財布
特別	国民健康保険特別会計	127.1億円	12.5億円	126.1億円	1.0億円	自営業者の方などが病気やけがをしたときの医療費を負担するためのお財布
	介護保険特別会計	111.0億円	17.3億円	109.3億円	1.7億円	高齢者の方が介護が必要になったときに受けるサービス等の費用を負担するためのお財布
	後期高齢者医療特別会計	21.1億円	4.2億円	20.4億円	0.7億円	75歳以上の方などが病気やけがをしたときの医療費を負担するためのお財布
	財産区特別会計	14.9億円	0.0億円	0.4億円	14.5億円	昔から地域の皆さんで使っていた、ため池や山林などを維持管理するためのお財布
	土地取得特別会計	2.1億円	2.1億円	2.1億円	-	道路などの工事をするために必要な土地を購入するためのお財布
公営企業	と畜場特別会計	1.2億円	0.7億円	1.2億円	-	皆さんが食べる牛肉等を加工するための施設の維持管理を行うためのお財布
	水道事業会計	23.0億円	0.0億円	19.3億円	3.7億円	皆さんが使う水を供給する水道施設の維持管理を行うためのお財布
	下水道事業会計	32.7億円	9.8億円	28.7億円	4.0億円	皆さんが使用した水を処理場に送り、適切に処理するためのお財布

※四捨五入の関係で「収入－支出」と「収支」が一致しない場合があります。

一般会計繰入金是一般会計が負担すべきお金のほか、他の会計が赤字になりそうなときに一般会計から仕送るお金のことだよ。

どのお財布も収支に赤字が無くて安心。でも、一般会計繰入金がなかったら赤字になるお財布もあるみたい。もし一般会計が赤字になったら、大変だね。





Q3. 一般会計の決算の概要を教えて！

## 令和4年度一般会計決算の概要

- ・歳入（収入）：451億4,696万円（前年度比 -16億5,133万円）
- ・歳出（支出）：450億2,376万円（前年度比 -12億533万円）

⇒形式収支（歳入－歳出）：1億2,320万円

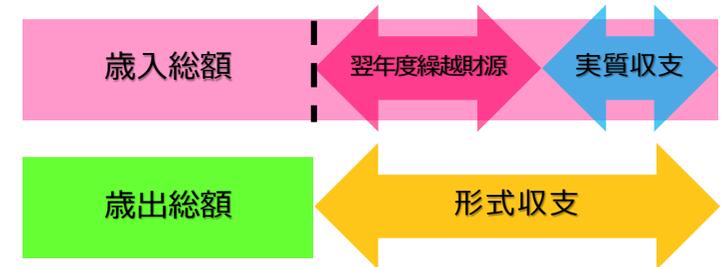
このうち翌年度に繰り越す仕事（令和4年度に終わらなかった仕事）に使うためのお金「1,746万円」を差し引いた金額が、

⇒実質収支（形式収支－翌年度繰越財源）：1億574万円

ただし、財源不足を補うため、財政調整基金（市役所の貯金）から取り崩しを行った。（令和4年度取り崩し額：1.8億円）

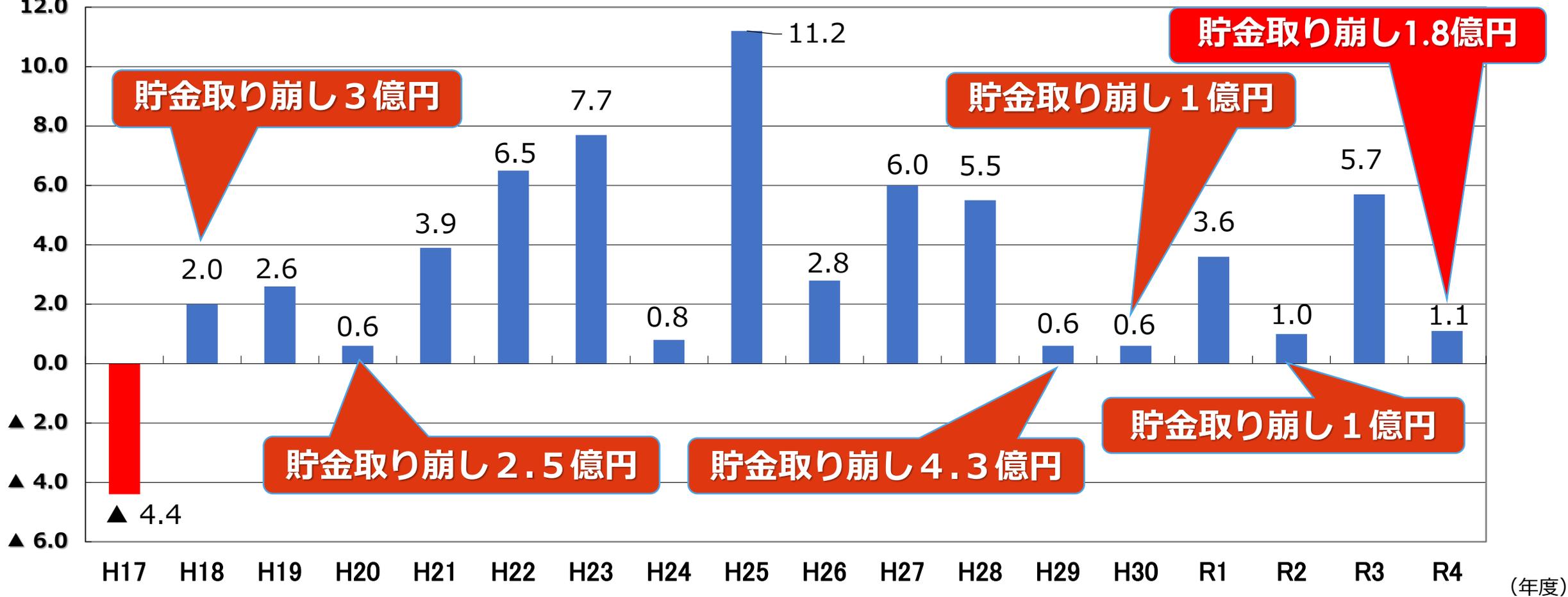
➡ 貯金を取り崩しての黒字となった。

★実質収支のイメージ図(収支が黒字の場合)



次のページでは、これまでの一般会計の収支の推移を見てみよう。

(億円) 一般会計の実質収支の推移



一般会計の収支は年によってすごくデコボコがあるね。黒字のときはしっかり貯金をしないとね。



羽曳野市の収支にデコボコがあるのは、市の総収入の中で、国や大阪府からもらえるお金の割合が高く、年によってもらえるお金が多かったり少なかったりして収入が安定しないことが理由のひとつとして考えられます。令和4年度がどうだったかは、次のページで見てみましょう。

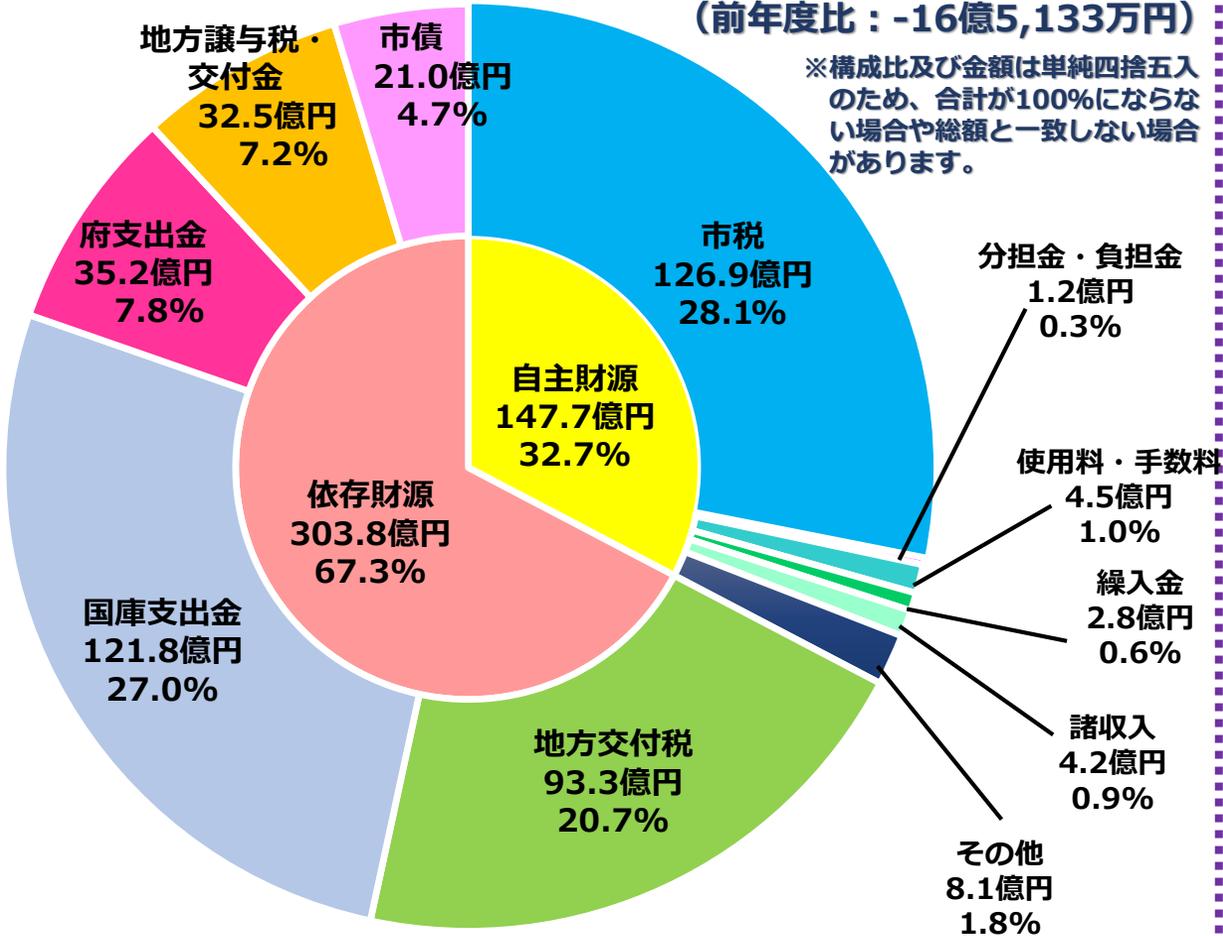


# Q 4. 令和4年度の歳入の特徴を教えてください！

## 一般会計歳入内訳 (令和4年度決算)

総額：451億4,696万円  
(前年度比：-16億5,133万円)

※構成比及び金額は単純四捨五入のため、合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。



### 令和4年度歳入決算の特徴

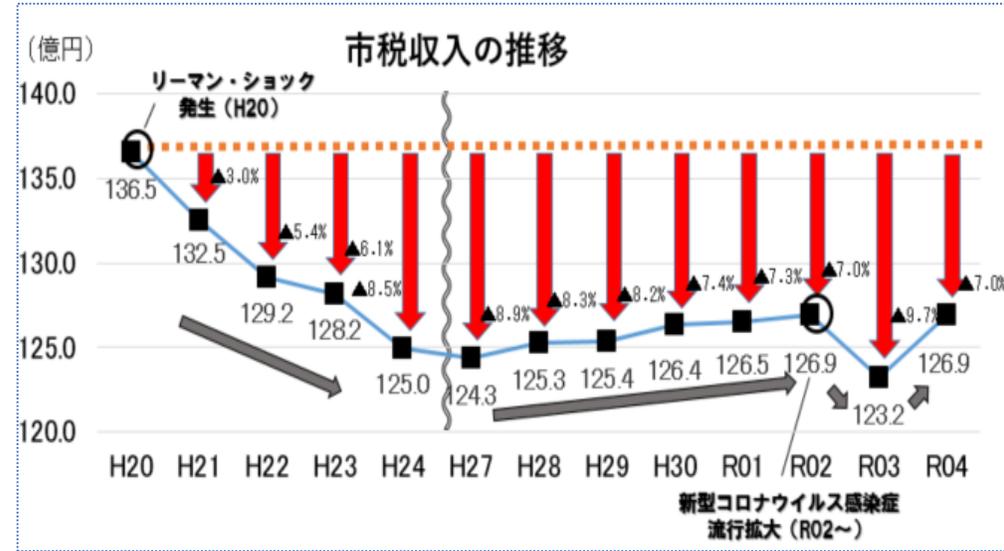
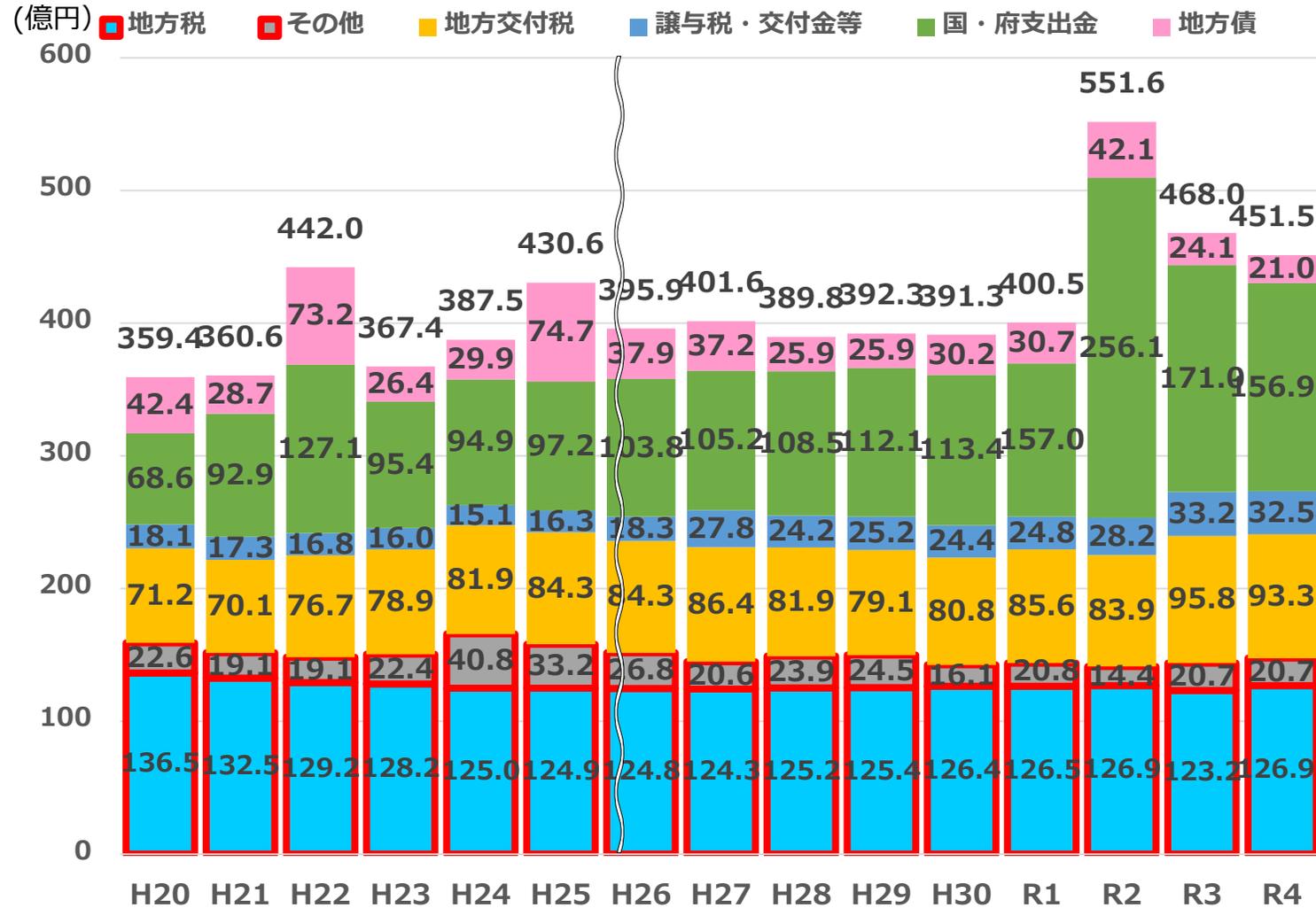
- ・ 令和4年度の歳入総額は、451億4,696万円となり、前年度と比較すると、16億5,133万円の減少となった。
- ・ これは、市税や子ども教育・生活支援事業による都道府県支出金等の増加などがあったものの、子育て世帯等への臨時特別給付金事業による国庫支出金や地方交付税等の減少などがあったことによる。
- ・ 依存財源である国庫支出金等が減少したことや、自主財源である市税等が増加したことを受けて、一般会計の自主財源割合は32.7%となり、前年度に比べ1.9%上昇した。



「自主財源」は市役所が自主的に集められるお金。  
「依存財源」は国や大阪府からもらうお金などで、自主的には集められないもの。  
「自主財源」が多いほど、自主的で安定的な仕事ができる。だから、「自主財源」をもっと増やせるようにしないとね。

# 一般会計の歳入の推移

□ は、自主財源



平成20年度と比べて令和4年度の市税収入は約10億円減少したのに対し、地方交付税は約22億円増加しており、市財政の国への依存度は高まっています。

市税収入はリーマン・ショック後の減少傾向から、平成28年度以降は増加傾向が続いており、令和3年度は一旦減収に転じましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の終息に伴う景気回復等により再び増加となっています。

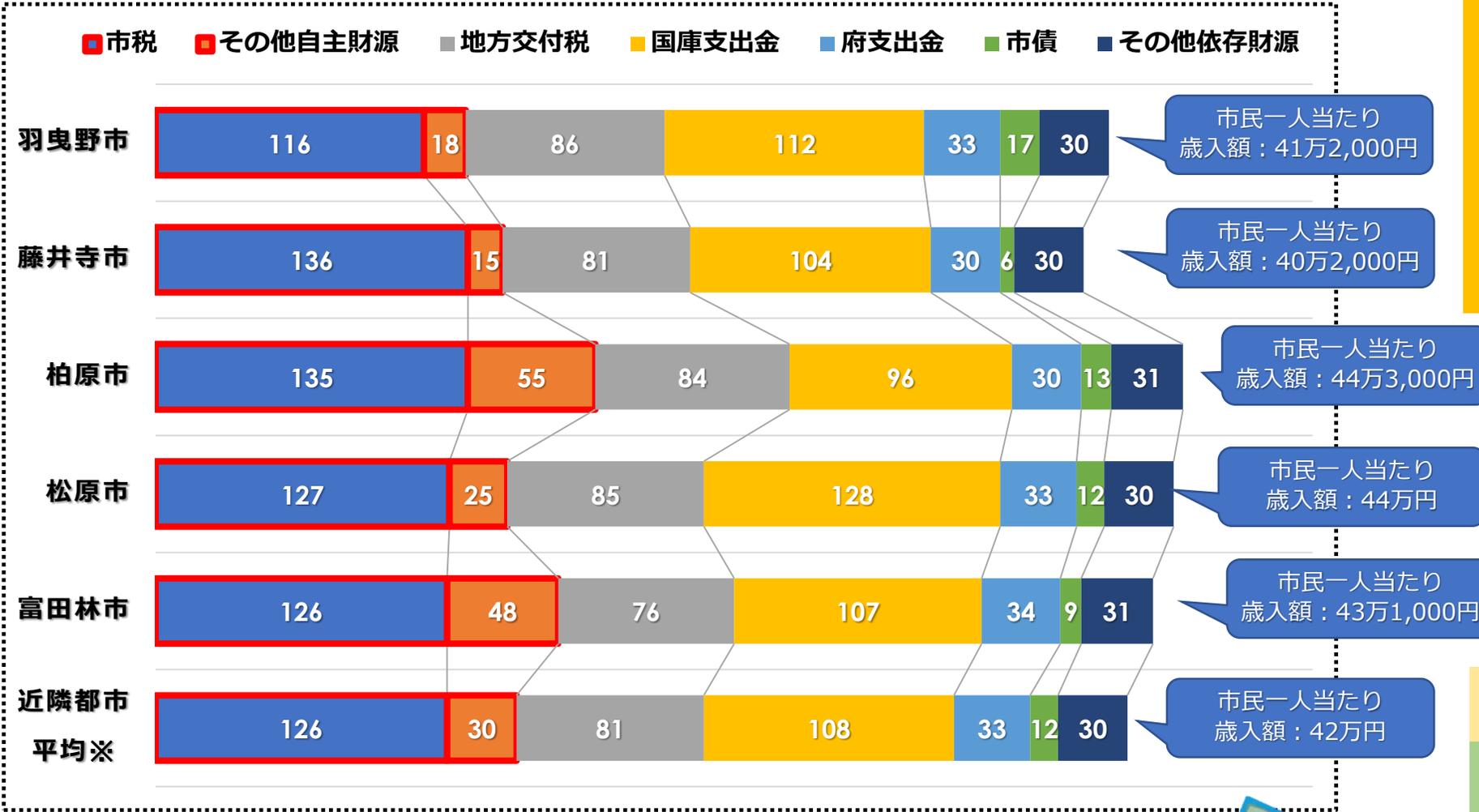


※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。

# 市民一人当たりの歳入 隣接市・近隣都市平均との比較について

市民一人当たり歳入比較表（令和4年度決算・普通会計\* / 政令市除く）

単位：千円  
   は、自主財源



普通会計とは？  
 「普通会計」とは、市町村ごとに会計の範囲や状況が異なることから、他の市町村との財政比較を行いやすくするため、一般会計とそれに近い性質の特別会計とを足し合わせるほか、各会計で重複するお金や、借金の借換に関する収入等を差し引いて算出します。羽曳野市では、「一般会計」と「土地取得特別会計」を合わせたものを「普通会計」としています。

羽曳野市は市民一人当たりの歳入額が少なく、周りの市よりも市民一人当たりの自主財源の額が低いみたい。どうしたら歳入が増えるのか、みんなで考えてみよう！

市民一人当たりの自主財源の額  
 近隣都市平均：15.5万円  
 羽曳野市：13.4万円  
 （近隣都市7市中7位）



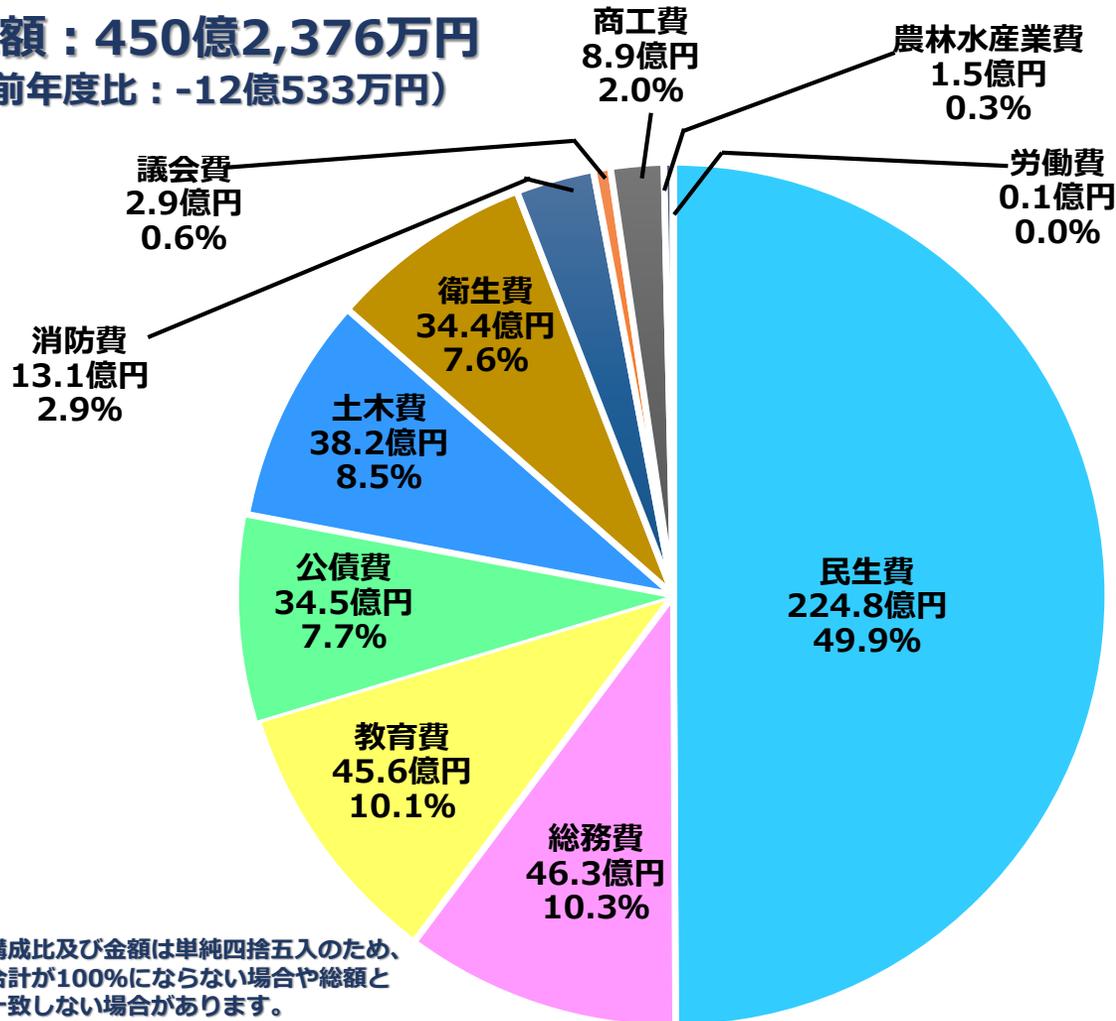
※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。  
 ※近隣都市平均は隣接市に河内長野市と大阪狭山市を加えた7市の加重平均です。



# Q 5. 令和4年度の歳出の特徴を教えてください！

## 一般会計歳出（目的別）内訳（令和4年度決算）

総額：450億2,376万円  
（前年度比：-12億533万円）



※構成比及び金額は単純四捨五入のため、合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。

歳出決算には、歳出を行政目的別に区分した「目的別」と、性質別に区分した「性質別」の2つの見方があります。  
 家族の買い物で例えると、次のようになります。  
 (例) 子どものために洋服を買う  
 ⇒ ① 目的別：子どものために（民生費に計上）  
 ② 性質別：洋服を買う（物件費（11ページ参照）に計上）

### 令和4年度歳出決算（目的別）の特徴

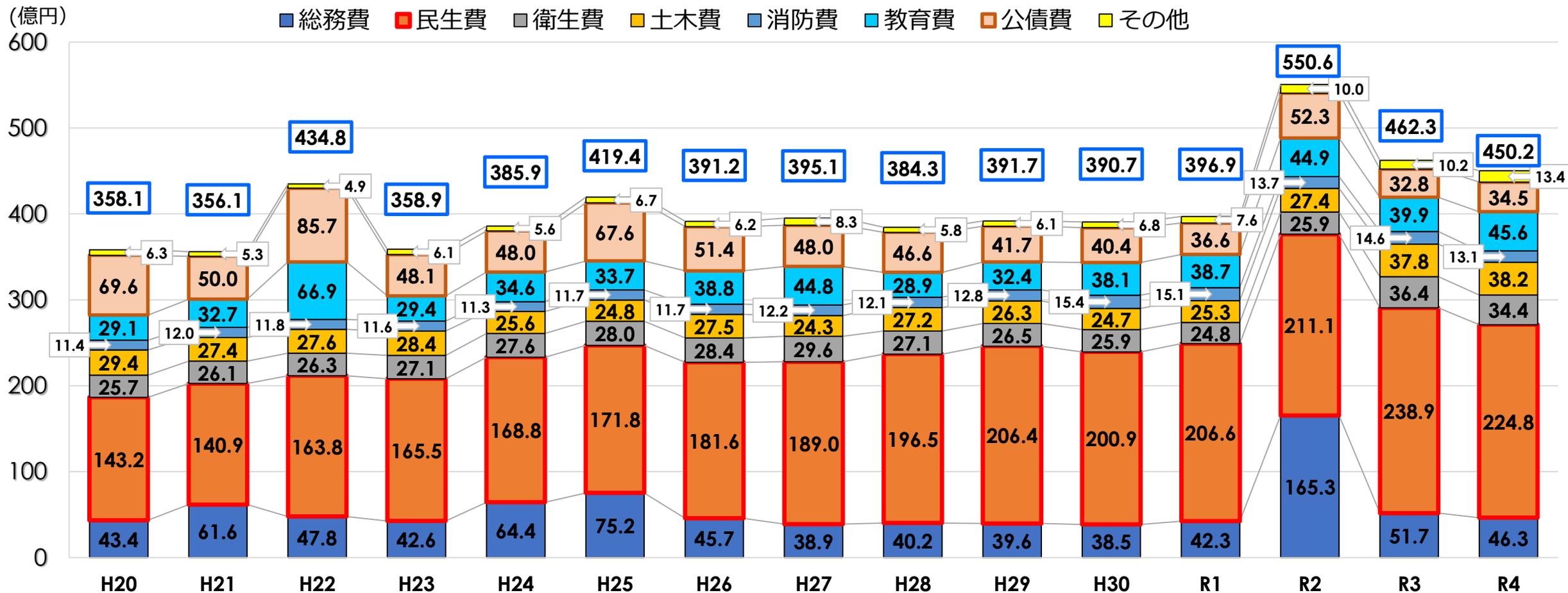
- 令和4年度の歳出総額は、450億2,376万円となり、前年度と比較すると、12億533万円減少した。
- 増加要因としては、プレミアム付商品券事務等による商工費や小学校の給食調理業務を外部委託したことなどによる小学校費等の増加がある。
- 一方、減少要因としては、子育て世帯等への臨時特別給付金事業による民生費等の減少がある。



目的別費目の概要（主なもの）は、次のとおりです。

・民生費：福祉や子育てなど	・公債費：市役所の借金返済金
・総務費：まちづくりや戸籍など	・教育費：学校やスポーツなど
・衛生費：健康やごみ処理など	・土木費：道路や公園など
・消防費：消防や防災など	・商工費：観光や商業など

# 一般会計の歳出（目的別）の推移



※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。



平成20年度と比べて令和4年度の民生費は高齢化の進行や子育て施策の充実などを受けて約81.6億円の増となっています。一方、公債費は約35.1億円の減となっています。なお、R4公債費のうち2.0億円は過去の借金の借換に伴うもので、それを差し引くと公債費は32.5億円になります。

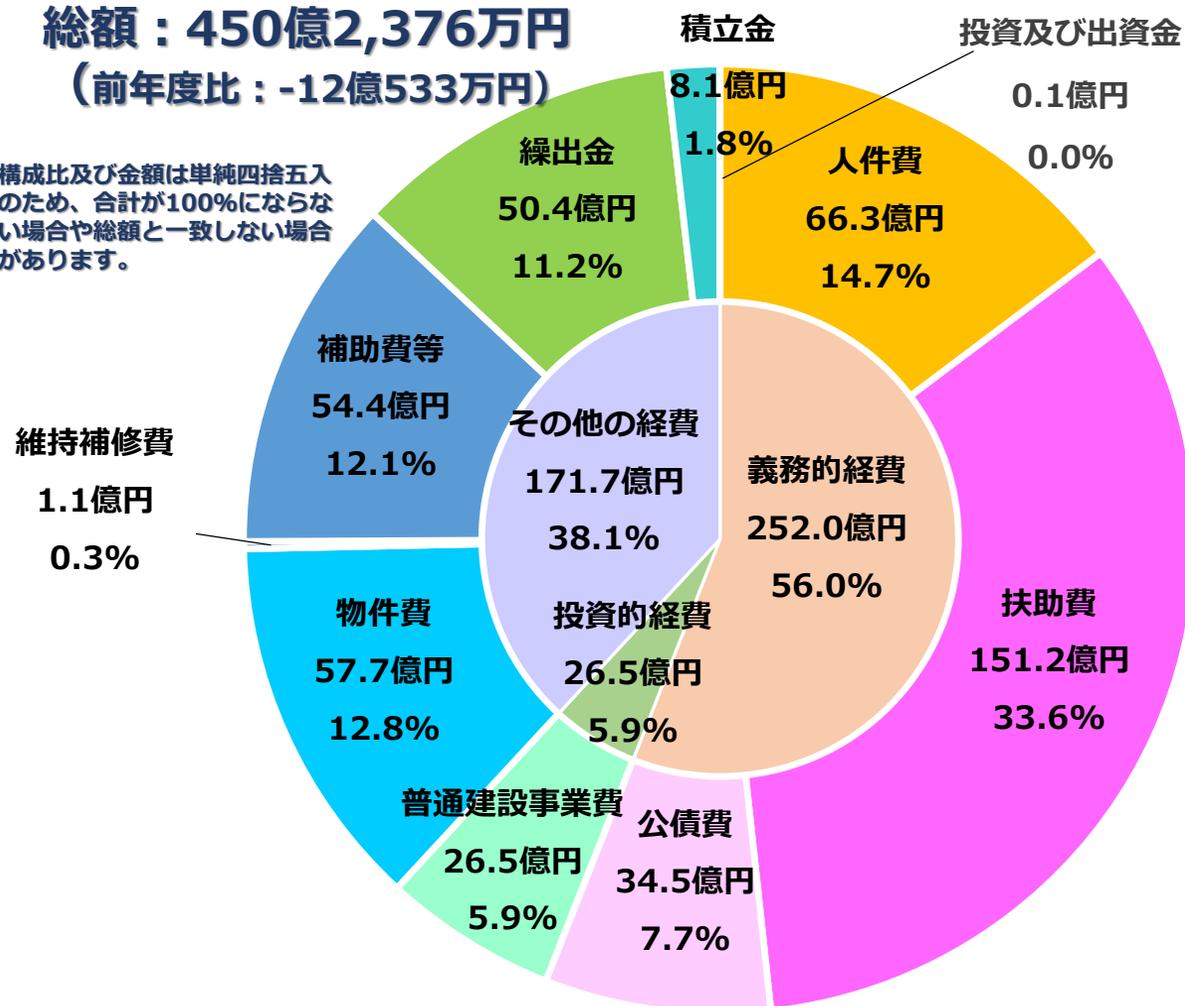
最近では、福祉や子育てなどにかかる費用が増加し、市役所の借金返済に充てるお金が減少したんだね。



# 一般会計歳出（性質別）内訳（令和4年度決算）

総額：450億2,376万円  
（前年度比：-12億533万円）

※構成比及び金額は単純四捨五入のため、合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。



## 令和4年度歳出決算（性質別）の特徴

- ・令和4年度の増加要因としては、プレミアム付商品券事務等による物件費等の増加がある。
- ・一方、減少要因としては、子育て世帯等への臨時特別給付金事業等による扶助費等の減少がある。
- ・この結果、歳出全体では前年度より12億533万円の減少となった。人件費及び公債費の増加を扶助費の減少が上回ったことから義務的経費の割合は前年度より0.5%減少したものの、財政の硬直化は依然として解消はされていない。

性質別費目の概要は、次のとおりだよ。

- ・人件費：職員の給料、退職手当などに係る経費
- ・扶助費：児童、高齢者、障害者に対する支援に係る経費
- ・公債費：市役所の借金の返済に係る経費
- ・普通建設事業費：道路、学校などの施設の建設に係る経費
- ・災害復旧事業費：災害で被害を受けた施設の復旧に係る経費
- ・物件費：施設管理等の委託料や消耗品、備品等に係る経費
- ・維持補修費：施設の維持補修に係る経費
- ・補助費等：一部事務組合や公営企業等に対する補助に係る経費
- ・繰出金：国保、介護などの特別会計への仕送りに係る経費
- ・積立金：基金（市役所の貯金）への積み立てに係る経費

性質別経費は、大きく分けて「義務的経費」、「投資的経費」、「その他の経費」の3つに分けられます。

このうち、制度的に支出が義務付けられている「義務的経費」の割合が高いほど、財政の柔軟性を欠き、財政健全化が図られにくいとされています。

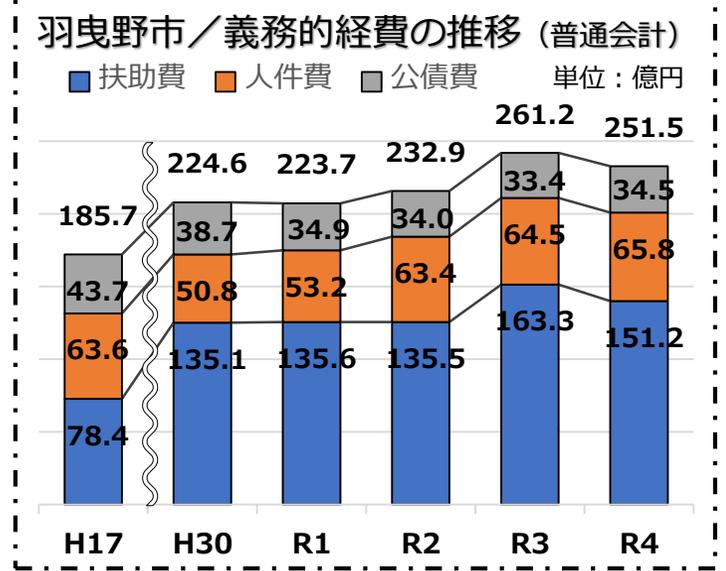
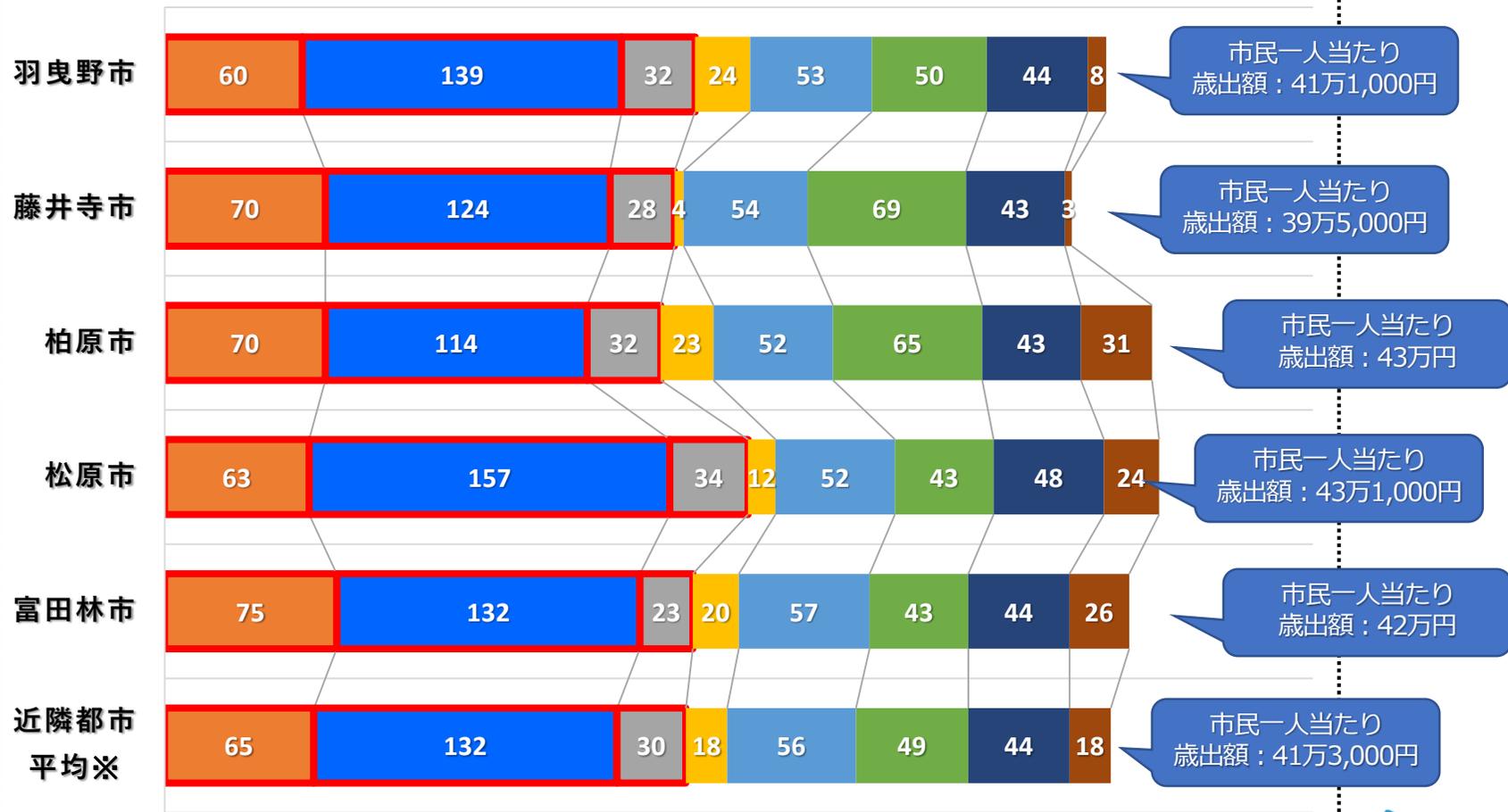


# 市民一人当たりの歳出（性質別） 隣接市・近隣都市平均との比較について

## 市民一人当たり歳出比較表（令和4年度決算・普通会計／政令市除く）

単位：千円    は、義務的経費

■人件費 ■扶助費 ■公債費 ■普通建設事業費等 ■物件費 ■補助費等 ■繰出金 ■その他



羽曳野市は義務的経費の割合が高く、その中でも「扶助費」の割合が高いね。少しでも義務的経費を抑えることができるかな～？

歳出総額に占める義務的経費の割合（普通会計）

近隣都市平均：55.0%  
 羽曳野市：56.2%  
 （近隣都市7市中5位）  
 （この割合が高いほど財政健全化がしにくい）



※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。  
 ※近隣都市平均は隣接市に河内長野市と大阪狭山市を加えた7市の加重平均です。





羽曳野市の家計簿はどのようになっているのかな。どのような特徴があるか一緒に見てみよう。

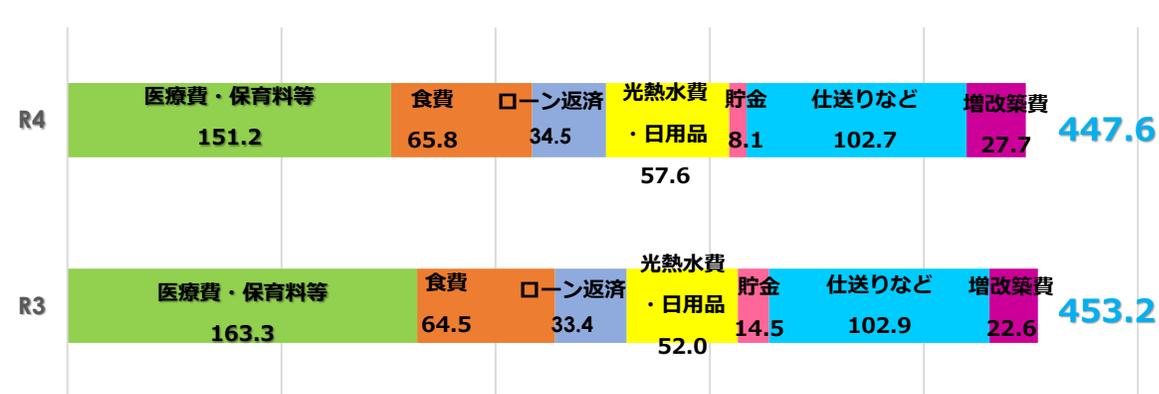
## <収入> (普通会計)

(単位：億円)



## <支出> (普通会計)

(単位：億円)



家計簿の項目	歳入科目	説明
給与(基本給)	地方税	市民から納められる税金
給与(手当・ボーナス)	地方交付税、譲与税など	税金の不足を補うために国から配分されるお金など
親からの援助	国庫支出金、府支出金	国や大阪府から支払われるお金
パート収入	使用料・手数料、寄附金など	施設の使用料や行政サービスの利用料、ふるさと寄附金など
貯金引出	繰入金	積み立ててきたお金の取り崩し
繰越金	繰越金	前年度からの繰越金
ローン借入	地方債(臨財債(16頁参照)含む)	施設の建設費用などのための借入金

家計簿の項目	歳出科目	説明
医療費・保育料等	扶助費	子どもや障がい者や生活困窮者を支えるためのお金
食費	人件費	職員の人件費
ローン返済	公債費	過去の借入金の返済費用
光熱水費・日用品	物件費	施設の光熱水費、業務委託料、物品の購入費
貯金	積立金	将来に備えて積み立てておくお金
仕送りなど	繰出金・補助費等	国民健康保険や介護保険、下水道などのために負担するお金
家の増改築費	投資的経費	道路などのインフラや学校・体育館などを建設するお金

○収入では、給与はほとんど変わらないけど、親からの援助が減っているね。これは国の子育て世帯等への臨時特別給付金事業のなどの国庫支出金が減ったことが大きな要因となっているね。その他、繰越金や貯金引出が増えて、ローン借入等が減っていることが見て取れるね。

○支出では、医療費・保育料等が減っているね。これは国の子育て世帯等への臨時特別給付金事業のなどの医療費・保育料等が大幅に減少したことが要因だよ。また、ローン返済に毎年30億円以上かかっていることに加え、家の増改築は毎年20億円以上かかっているね。

また、これからの施設の老朽化対応するためには貯金を増やしたいところだけど、医療費・保育料等は増えていくだろうから厳しいね。





## Q 6. 令和4年度に行った主なお仕事を教えて！



令和4年度に行った代表的な仕事を紹介します。



### ●新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策事業【29億1,151万円】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業、子育て世帯等臨時特別給付金事業、高齢者生活支援事業、観光・シティプロモーション促進事業、プレミアム付き商品券事業など



### ●市営住宅集約建替事業【11億9,355万円】

- ・地域と連携しながら進めてきた市営向野住宅の整備について、戸数81の住戸棟（鉄筋コンクリート造 8階建）新築を含む集約建替工事を実施

### ●市民プール整備事業【3億9,663万円】

- ・中央スポーツ公園内において、幼児が楽しむことができる遊具も備えた市民プールの整備工事を実施



### ●大阪はびきの観光局の設立【3,897万円】

- ・地域資源を活用した新たな観光施策に取り組み、観光によるまちづくりを推進するため、大阪はびきの観光局を設立

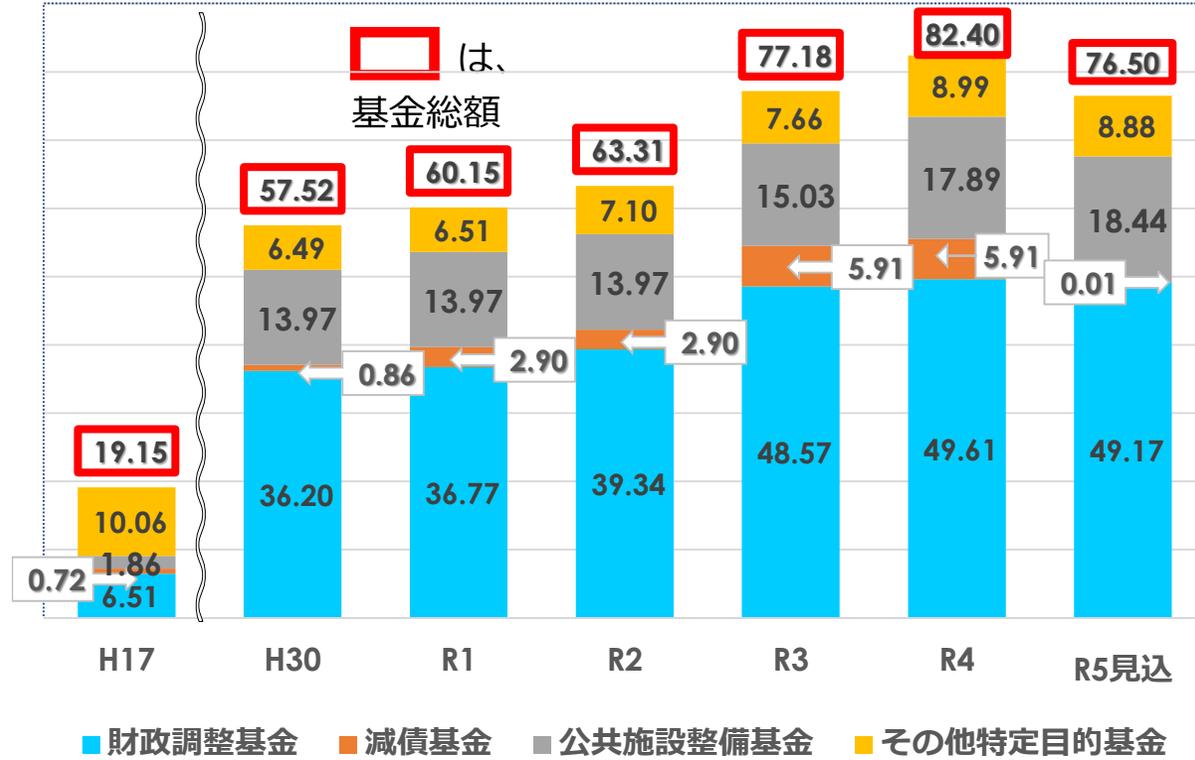


# Q7. 羽曳野市にはどれくらい貯金があるの？



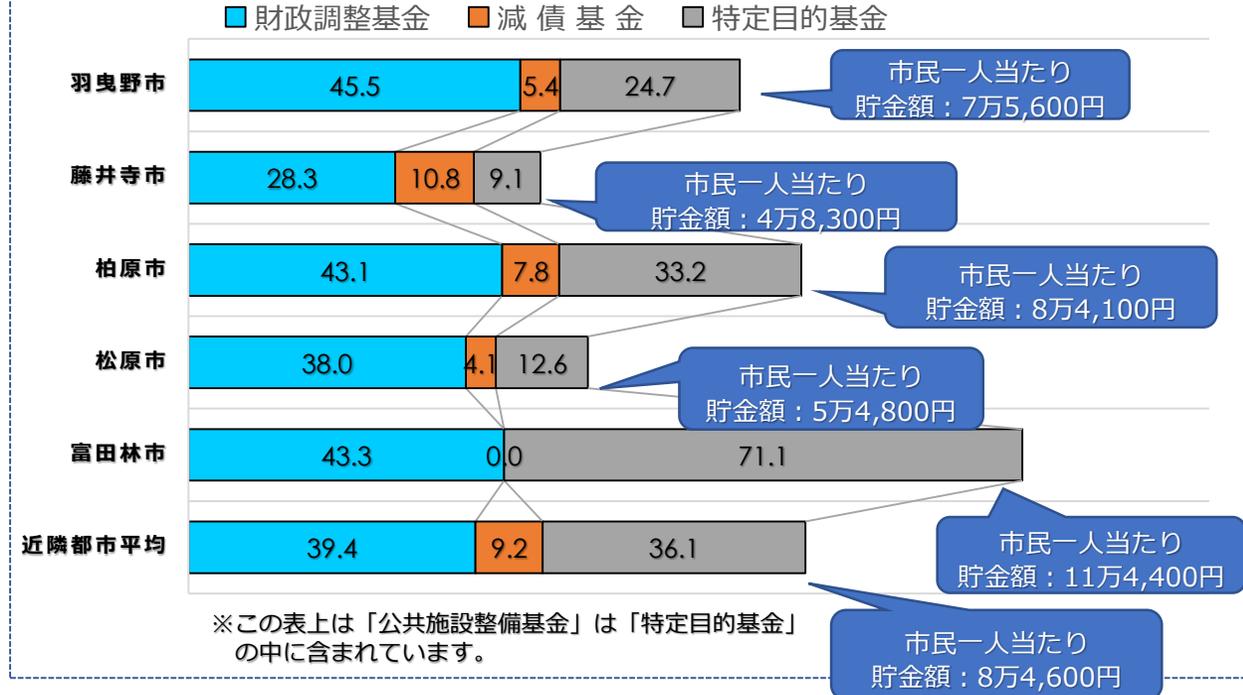
## 基金（貯金）残高の推移

単位：億円



(参考) 市民一人当たりの基金残高 隣接市・近隣都市平均との比較表 (令和4年度決算/政令市除く)

単位：千円



- 財政調整基金：年度間の収支のデコボコを調整するための貯金
- 減債基金：市債の返済に備えて積み立てる貯金
- 公共施設整備基金：公共施設の整備や改修に充てるための貯金
- その他特定目的基金：福祉、教育、まちづくりなど、特定の目的のために積み立てられる貯金



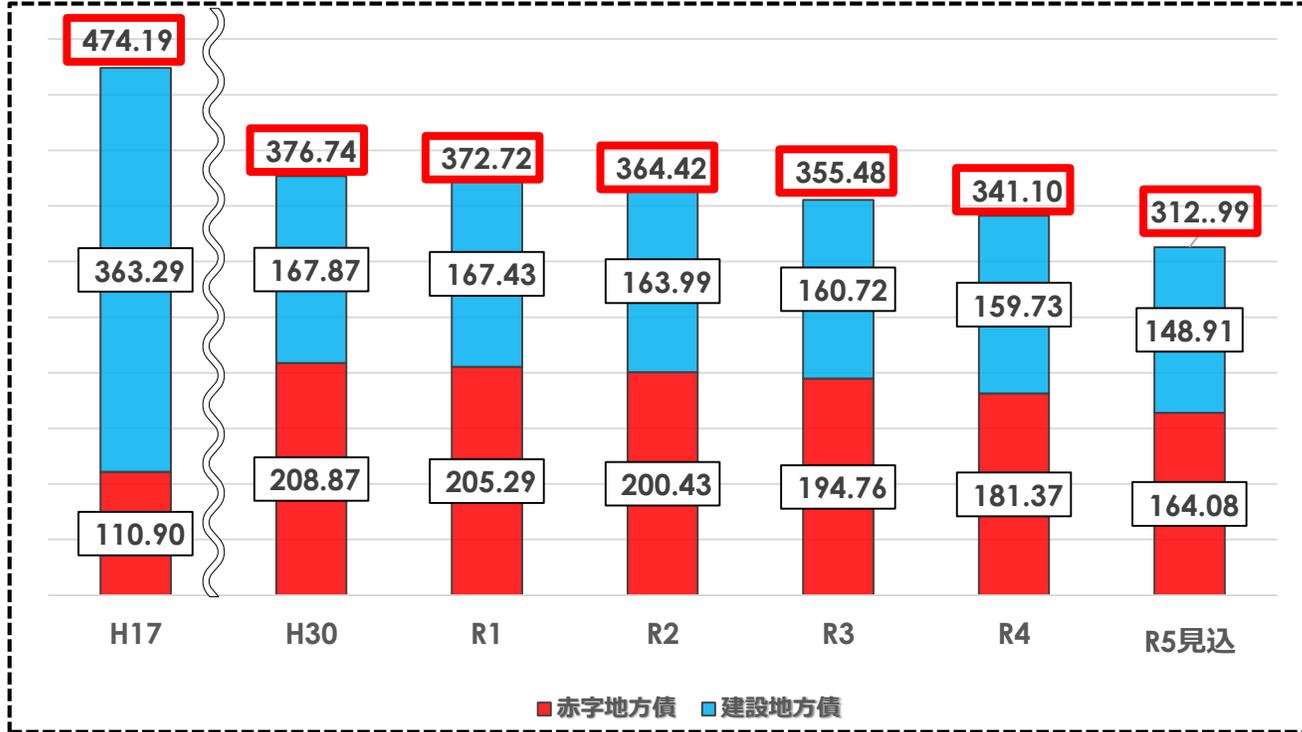
基金(貯金)残高は、財政健全化計画の着実な実行等により増加させることができてきたよ。特に財政調整基金は「毎年収入が見込まれる税金や交付税などのお金の平均的な金額」(標準財政規模)の20%程度を目標に積み立ててきたところで、羽曳野市の標準財政規模は約247億円でその20%は約49億円となり、R4年度は49.61億円なので、ようやく目標を達成したよ。R5年度は減債基金の取り崩しの増加などにより一旦残高は減る見込みだけど、今後は本庁舎や給食センターの更新対応などが控えていて、そのために大きく取り崩さなければならないことも考えられるから、この取り組みは続けていきたいね。



# Q 8. 羽曳野市にはどれくらい借金があるの？

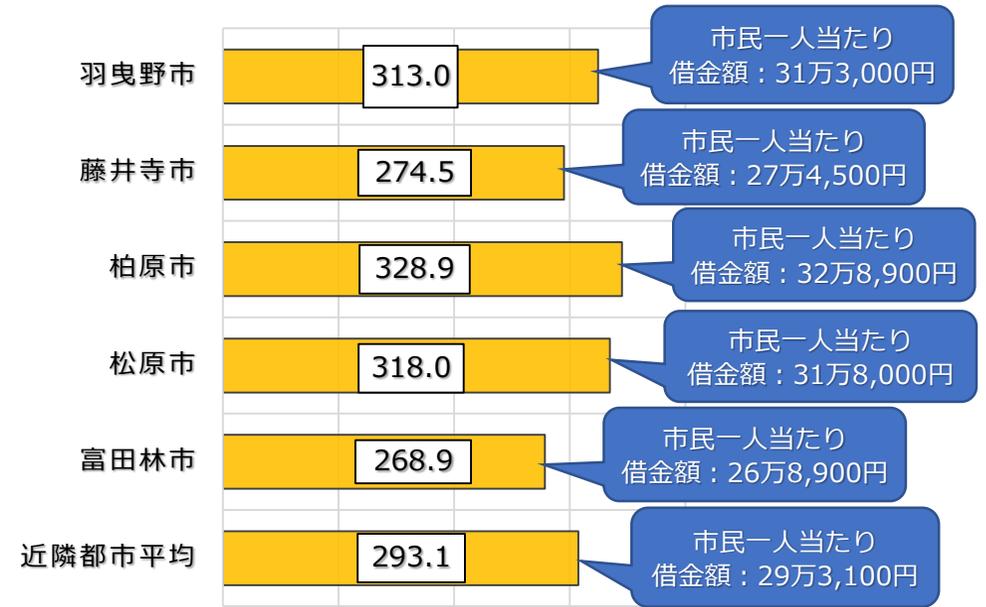
## 市債（借金）【普通会計】残高の推移

単位：億円



(参考) 市民一人当たりの市債残高 隣接市・近隣都市平均との比較表 (令和4年度決算/ 政令市除く)

単位：千円



※この表上は、赤字地方債、建設地方債を含む市民一人当たりの金額を表しています。

□ は、借金総額



- 赤字地方債：臨時財政対策債\*、退職手当債等をいう。
  - 建設地方債：道路や公共施設を建設するために借りる借金。市債を借り、その施設の耐用年数の期間に渡って借金返済をすることで、その施設を使用する人たちの世代間の公平性を確保する。
- ※臨時財政対策債：国が地方に支払うべき地方交付税の財源が不足しているため、地方自治体に交付税の代わりに発行させる赤字地方債。後年度その元利償還金の全額に相当する額が地方交付税としてもらえる。



市債（借金）残高は、その年の新規借入額を原則その年の元金償還額以下とするような運用をしているため、特に建設地方債は着実に減少しているね。だけど、他市に比べるとまだまだ高い水準だね。国の財源不足による臨財債の残高も高い水準にあり、1,200兆円を超える国の借金残高のことを考えると、市の自主財源を多くして、少しでも臨財債の借入額を減らす努力が必要だね。

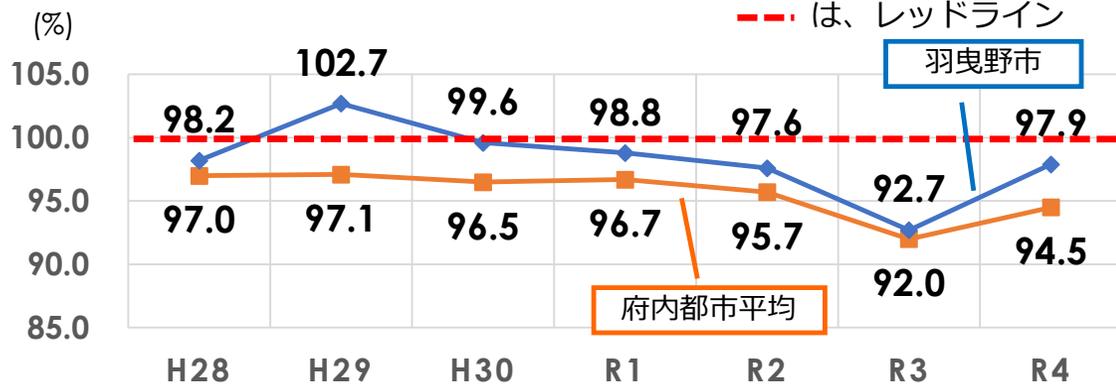


## Q 9. 羽曳野市の財政状況は大丈夫なの？



市役所の財政状況は「経常収支比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」などの財政指標で診断することができます。

### 経常収支比率の推移

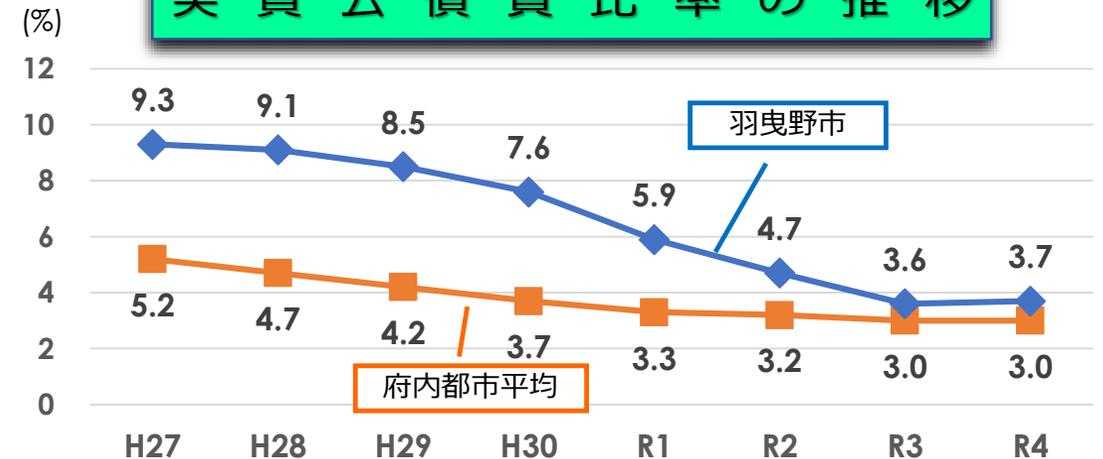


令和4年度の経常収支比率は、97.9%（前年度比+5.2%）となりました。地方交付税や地方特例交付金等といった経常一般財源が減少したことに加えて、過去の建設事業等にかかる公債費、小学校給食調理業務の外部委託等による物件費、会計年度任用職員の期末手当引き上げ等に伴う人件費などの経常経費の増加などが増加したことによるもので、更なる経費削減に努める必要があります。

経常収支比率とは （※低い方が良い）

地方公共団体の財政の弾力性（自由度）を判断するための指標です。市税や地方交付税など毎年経常的に入ってくる使い道が決まっていない自由に使えるお金が、人件費、扶助費、公債費など毎年経常にかかる経費にどれだけ充てられるかを示します。この比率が100%を超えると、経常的な収入では経常的な支出をまかなえていないことを表します。

### 実質公債費比率の推移



令和4年度の実質公債費比率は、3.7%（前年度比+0.1%）となりました。これは、一般会計債の元利償還金の増加によるもので、依然として府内都市平均よりも高い水準となっているため、今後もこの間の財政健全化計画に基づき新たな借入を抑制しつつ、自主財源の確保に努め、臨時財政対策債といった赤字地方債に過度に依存しない財政体質を目指していく必要があります。

実質公債費比率とは （※低い方が良い）

地方公共団体の借金返済額の負担の大きさを表す指標です。年間の収入の規模に占める年間の借金返済額の割合を表します。この比率が18%を超えると新たに借金をするのに大阪府の許可となります。

## 将来負担比率の推移



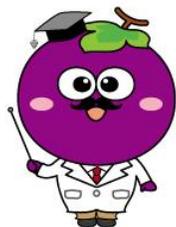
※将来負担額を充当可能財源等が上回っている年度は「-」で示しています。

令和4年度の将来負担比率は、1.7%（皆増）となりました。

これは、臨時財政対策債償還費などの基準財政需要額算入見込額が減少したことに加え、年度を越えた繰替運用による貸付金が増加したことに伴い充当可能基金が減少したことなどによるもので、将来に過度の負担を残さないように、身の丈に合った財政運営に努める必要があります。

将来負担比率とは (※低い方が良い)

地方公共団体が将来支払うべきお金の大きさをはかる指標です。年間の収入の規模に対する一般会計の借金残高や下水道事業等への借金返済のための補助金の将来見込み額など、市役所が将来に支払わなければならないお金の割合を表します。この比率が350%を超えると国や大阪府の管理の下、「財政健全化計画」を作成し、市民サービスを抑えるなどをして財政の健全化を図ることになります。



借金の返済については、これまでの取組みの成果が現れているね。  
じゃあ、これからの見込みはどうなのかな？

## 羽曳野市の財政状況について

- 平成18年度以来17年連続黒字を確保しているが、令和4年度は財政調整基金（貯金）の取り崩しにより黒字を確保した。
- これは、歳入においては子育て世帯等への臨時特別給付金事業による国庫支出金等が減少し、歳出においては子育て世帯等への臨時特別給付金事業による扶助費等が減少したものの、会計年度任用職員の期末手当引き上げ等に伴う人件費、プレミアム付商品券事務等による物件費等が増加となったことによるものである。
- 経常収支比率は前年度よりも悪化しており、今後は特に公共施設等の整備に伴う公債費の増加が見込まれるため、財政の硬直化について注視が必要である。
- 人口減少等による市税収入の減少が見込まれる一方で、市役所本庁舎や給食センターの建替をはじめとした公共施設等の更新に多額の費用を要することから、公共施設等の集約化・長寿命化を行うとともに、事業の見直し、自主財源の確保などを集中的に行う必要がある。



このほかにも、羽曳野市の資産や負債といったストックに関する情報などについては、「地方公会計制度に基づく財務書類」で分析しているよ。  
【[地方公会計制度に基づく財務書類については、こちらのページをご覧ください。](#)】  
次のページでは、羽曳野市のこれからの財政収支の見通しを見てみよう。

# 羽曳野市の今後の財政収支見通し

## 羽曳野市／普通会計 中期財政収支見通し

(単位：億円)

区 分		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
収 入	市 税	130.64	129.48	129.56	129.66	128.59
	地方交付税	94.54	93.25	92.14	91.91	92.13
	その他	207.26	178.22	204.35	205.40	208.19
歳入合計 (A)		432.44	400.95	426.05	426.97	428.91
支 出	人件費	64.97	66.85	67.00	67.00	67.67
	扶助費	137.98	138.67	139.09	139.51	139.93
	公債費	40.26	33.72	33.69	34.18	33.28
	普通建設事業費	16.24	15.79	46.22	45.94	48.52
	その他	174.73	148.83	149.79	155.69	163.37
歳出合計 (B)		434.18	403.86	435.79	442.32	452.77
収支 (A) - (B)		▲ 1.74	▲ 2.91	▲ 9.74	▲ 15.35	▲ 23.86

※令和6年度以降は財政調整基金（貯金）の取り崩しを見込んでいません。



財政調整基金を取り崩さないと、赤字はどんどん膨らんでいく見通しだね。原因は、

- ① 人口が減ることによって市税が減る
- ② 高齢化などによって扶助費は増加する
- ③ 老朽化した公共施設等の更新にもお金がかかるなどが考えられるよ。

うわ～！大変だ～！  
このままいって貯金が無くなったときはどうなっちゃうんだろう。  
こうならないようにはどうすればいいのかな？





もう一步踏み込んで、一般会計以外の会計の状況も見てみよう！！

(単位：億円)

会計	年度	収入 (収益)	うち 一般会計 繰入金	支出 (費用)	収支	説明
国民健康保険 特別会計	R4	127.1	12.5	126.1	1.0	◇収入は前年比3.7億円の減少。府支出金（普通交付金の保険給付費等交付金）の減少が主な要因。
	R3	130.8	12.3	129.1	1.7	◇支出は前年比3.0億円の減少。医療費の減少により保険給付費が減少したことが主な要因。
	差引	▲3.7	+0.2	▲3.0	▲0.7	◇収支は1.0億円の黒字で前年比0.7億円の減少となっている。
介護保険 特別会計	R4	111.0	17.3	109.3	1.7	◇収入は前年比0.4億円の減少。令和3年度の介護保険給付費がおおむね計画値どおり推移し余剰金が減少したことにより繰越金が減少したことが主な要因。
	R3	111.4	17.1	109.4	2.0	◇支出は前年度比0.1億円の減少。居宅介護サービス給付費などの保険給付費が増加した一方で、令和3年度の介護保険給付費がおおむね計画値どおり推移し余剰金が減少したことにより介護給付費準備基金積立金が減少したことが主な要因。
	差引	▲0.4	+0.2	▲0.1	▲0.3	◇収支は1.7億円の黒字で前年比0.3億円の減少となっている。
後期高齢者医療 特別会計	R4	21.1	4.2	20.4	0.7	◇収入は前年比1.7億円の増加。被保険者数の増加により後期高齢者医療保険料が増加したことが主な要因。
	R3	19.4	3.9	18.8	0.6	◇支出は前年比1.6億円の増加。被保険者数の増加に伴い後期高齢者医療保険料の収入が増えたことなどにより後期高齢者医療広域連合納付金が増加したことが主な要因。
	差引	+1.7	+0.3	+1.6	+0.1	◇収支は0.7億円の黒字で前年比0.1億円の増加となっている。
と畜場 特別会計	R4	1.2	0.7	1.2	—	◇収入は前年比0.6億円の増加。ろ過装置緊急更新工事の財源として起債した、と畜場整備事業債の増加が主な要因。
	R3	0.6	0.6	0.6	—	◇支出は前年比0.6億円の増加。設備設計委託料や修繕費は減少したが、改修工事費や改修事業計画策定業務委託料、電気料金が増加したことが主な要因。
	差引	0.6	0.1	0.6	—	◇収支は0億円で前年比も0億円となっている。



(単位：億円)



会計	年度	収入 (収益)	うち 一般会計 繰入金	支出 (費用)	収支	説明
水道事業会計	R4	23.0	0.0	19.3	3.7	<p>◇収益は前年比0.1億円の減少。退職手当に係る一般会計からの負担金の増加などにより雑収入が増加した一方で、給水人口の減少や節水機器の普及等などによる給水収益が減少したことが主な要因。</p> <p>◇費用は前年比0.8億円の増加。配水及び給水費が増加したことが主な要因。</p> <p>◇収支の状況等から経営の健全性を分析してみると、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す経常収支比率は100%を超え、流動資産から流動負債を控除した運転資金は企業債残高を上回っていることから、健全性は確保されていると言える。</p>
	R3	23.1	0.0	18.5	4.6	
	差引	▲0.1	0.0	+0.8	▲0.9	
下水道事業会計	R4	32.7	9.8	28.7	4.0	<p>◇収益は前年比0.3億円の増加。資本的収支不足額が増加したことにより、その補填財源として他会計補助金の増加したことが主な要因。</p> <p>◇費用は前年比0.2億円の増加。支払利息及び企業債取扱諸費が減少したものの、流域下水道維持管理負担金の増加したことなどが主な要因。</p> <p>◇現状は汚水処理にかかる経費を下水道使用料だけでは賄えておらず、基準外繰入金に依存する状況が続いている。さらに今後、人口減少や節水器具の普及により使用料収入の減少が見込まれ、また、管路や施設の老朽化により更新・維持にかかる費用は増加していくと考えられる。そのため、令和2年度に策定された「下水道事業経営戦略」の推計結果をふまえ、令和5年4月1日より下水道使用料が改定されるが、依然として経営環境は厳しい状況が続くと予想されるため、将来に渡って下水道サービスを持続的・安定的に提供できるよう経営基盤の強化が求められる。</p>
	R3	32.4	9.3	28.5	3.9	
	差引	+0.3	+0.5	+0.2	+0.1	



Q10. これからの羽曳野市に必要なことはナニ？



これからも引き続き「行財政改革」の取り組みが必要です！

羽曳野市では、行財政改革に取り組むための指針として「羽曳野市行財政改革大綱」を策定しています。19ページのような財政状況にならないように、これからも引き続き、財政の健全化に取り組んでいきます。

### 《優先して取り組むべき課題》

1. 脆弱な財政基盤と社会保障費等の増加
2. 公共施設における将来コストの増大
3. 市民ニーズの多様化・高度化



### 《改革の基本項目》

1. 持続可能な行財政運営の確立  
⇒ 自主財源の確保、事務事業の見直し、職員数の適正管理など
2. 人材の育成と組織の変革  
⇒ 人事評価制度、職員研修の充実、組織力の強化など
3. 公共施設マネジメントの推進  
⇒ 公共施設の最適化、財政負担の平準化と維持管理費の縮減
4. 市民協働によるまちづくりの推進  
⇒ 市民参画の推進、情報の積極的な公開と情報共有の推進など
5. 外郭団体等の改革  
⇒ 外郭団体、一部事務組合の改革

※「行財政改革」について詳しくは、次のページを参照してください。  
<https://www.city.habikino.lg.jp/soshiki/shichou/seisakukikaku/gyokaku/kaikaku/1965.html>

# 令和4年度の行財政改革の主な実績

これからもガンバって！



## 持続可能な行財政運営の確立

### ◇見直し後手数料の適用

【効果：手数料額 約350万円 (R4)】

※住民票等の主な証明書発行を対象とした半年分の効果額

1件あたりの証明書等発行手数料の見直し(200円 → 300円)後の料金と、未徴収事務の新たな手数料徴収を令和4年10月1日に適用

### ◇ふるさと納税の拡充

【効果：ふるさと納税寄附金 1億2千651万円 (R4)】

ふるさと納税返礼品パンフレットの作成・周知、市外での各種イベントでの周知、企業版ふるさと納税の開始 <R1: 1,732万円 → R2: 5,385万円 → R3: 10,462万円 → R4: 12,651万円>

### ◇資金運用の実施

【効果：新たな収入源の開拓】

安全性の高い債権であり、定期預金利率と比べて高い利率による利子収入が見込める大阪府発行のグリーンボンド公募公債の運用

### ◇公共施設休館日等の見直し

【効果：人件費の削減等 約400万円(R3→R4)】

全図書館への週1日の休館日を設定、中央図書館の土日祝日の開館時間を2時間短縮

## 人材の育成と組織の変革

### ◇RPAシステム等の導入

【効果：業務のさらなる効率化の実現】

手書き様式から文字を読み取ってデータ化することができるAI-OCR導入業務の拡充 <R1: 1,633件 → R2: 8,822件 → R3: 28,827件 → R4: 31,379件>

### ◇オンライン手続きの推進

【効果：市民の利便性の向上】

来庁することなく行政手続きができるオンライン手続きの導入を拡充 <R1: 0件 → R2: 1件 → R3: 10件 → R4: 36件>

## 公共施設マネジメントの推進

### ◇アクションプランに基づく施設の更新等

【効果：公共施設等の総量の抑制等】

羽曳野市公共施設等総合管理計画アクションプラン等に基づく施設の更新等の実施 <令和3年度から令和4年度にかけて中央スポーツ公園市民プールの整備工事を完了(令和4年夏オープン)>のほか、社会環境の変化に伴う向野共同浴場の閉鎖など

### ◇PPP/PFIの活用検討・導入等

【効果：市庁舎等の建替え整備におけるPPP/PFIの活用】

羽曳野市本庁舎建築整備基本構想の策定段階において、従来手法とPPP/PFI手法の比較、民間事業者へのサウンディング調査を実施

## 市民協働によるまちづくりの推進

### ◇大学や企業との連携

【効果：民間活力等の導入】

多様化する地域課題などを協力して解決するため、大学や民間企業などと連携協定を締結 <令和4年度は32件の連携協定を締結>、協定に基づく「子育てガイドブック(4,000部)」の作成・保育所等への配架・市ウェブサイトへの電子書籍版の掲載を実施



羽曳野市では、このほかにも様々な取り組みを行っています。取り組みの詳細については、「[羽曳野市行財政改革大綱の実施項目](#)」で紹介しています。





## Q11. 僕たち、私たちにできることは？



これからも、羽曳野市の財政状況と今後の課題に興味をもってください。

### 羽曳野市の財政状況のまとめ

- (1) 自主財源の割合が低く、総収入も低め
- (2) 扶助費や公債費などの義務的経費の割合が高く、自由に使えるお金が少ない。
- (3) 貯金は増えてきたが今後は減少見込み、借金は減ってきたが近隣都市平均よりも多め
- (4) 主な財政指標が府内都市平均よりも悪め

### 羽曳野市の今後の課題

- (1) 人口減少が進む  
 《H24 : 11.66万人 ⇒ R4 : 10.87万人 ⇒ R17予想\* : 9.79万人》  
※日本の地域別将来推計人口（令和5年（2023）年推計）  
 【国立社会保障・人口問題研究所】
- (2) 扶助費の額が増加していく  
 《H24:115.7億円 ⇒ H29:136.9億円 ⇒ R4:151.2億円※  
 ⇒R5見込:138.0億円 ⇒ R9見込:139.9億円》  
※新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で行った子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金などの施策により一時的に急増したもの。
- (3) 公共施設等や道路・橋等のインフラが老朽化  
 《本庁舎及び給食センター建替え（：約150億円想定）など》

※今ある事業を廃止（スクラップ）してから、そのお金で新しい事業を行う（ビルド）こと。

今後、財政状況はますます厳しさを増すと考えます。収入の確保とともに、限られた財源をこれまで以上に有効活用するため、事業の「選択と集中」、そして「スクラップ・アンド・ビルド\*」を進めていきます。



例えば、次のようなことでも、羽曳野市の財政の健全化に大きくつながります。皆さんのご協力、よろしくお願いします。



### そうだ。温泉に行こう。

入湯税は、温泉施設の利用者に対して課せられる税金で、環境衛生・消防施設の整備又は観光振興の費用等に充てられます。羽曳野市内には、温泉施設が2軒あります。たまには近くの天然温泉に入って心身ともにリフレッシュをしませんか？

### 柏羽藤G-0グランプリ!?

皆さんが出すごみの処理は、お隣の柏原市さん、藤井寺市さんと一緒に「柏羽藤環境事業組合」という組織を設置して行っており、それぞれの市のごみの量などに応じて同組合に負担金を支払っています。ごみの量が減量されれば、それに応じて負担金も減額される仕組みです。羽曳野市は3市の中で一人当たり家庭ごみ排出量が最も多い状況です（一番少ないのは藤井寺市さん）。さあ、皆さんでリサイクルを推進し、柏羽藤G-0（ゴミゼロ）グランプリに優勝しましょう！

### タバコの購入は羽曳野市内で！

市たばこ税は、国産タバコの製造者や輸入タバコの販売業者などが羽曳野市内のタバコ屋さんに売り渡したタバコに対して課せられる税金です。市たばこ税は、タバコを販売するタバコ屋さんが所在する市の税収になります。ですので、タバコを購入される際は、ぜひ羽曳野市内のタバコ屋さん（コンビニを含む。）をご利用下さい。

### Let's 水洗化！

公共下水道への接続ができるようになった区域に建物をお持ちの方は、公共下水道へ接続していただく必要があります。（現在浄化槽をお使いの場合でも公共下水道に接続し水環境の保全に、ご理解ください。）なお、羽曳野市の水洗化率（下水接続人口÷下水処理区域内人口）は88.6%（府内市町村平均97.7%）です。皆さまの排水を処理する下水道管や下水処理場の用意ができましたが、巨額の費用で構築した下水道施設も、ご利用いただければ意味がありません。水洗化して清潔で住みよい街をつくりましょう。



最後まで読んでいただきありがとうございました。  
つぶたんと一緒に見てきましたが、少しでも羽曳野市の財政状況を考えていただけのきっかけになれば幸いです。  
また、財政に関することで、お気づきの点や何か良いアイデアがあれば教えてください。  
これからも、羽曳野市の行財政運営にご理解とご協力をお願いします。

■ なお、令和4年度決算のより詳細な情報は[こちらの](#)ページをご覧ください。



世界遺産と日本遺産のあるまち  
HABIKINO CITY



## 羽曳野市の財政状況

〈令和4年度決算〉【第2版】

羽曳野市総務部財政課

Tel : 072-947-3807

Mail : zaisei@city.habikino.lg.jp